

2020年度 第1回7月九大本番レベル模試地理 採点基準

1 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

2 論述問題

① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。

② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

3 共通減点基準

① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。

② 下線の付け忘れは1点減点。

③ 指定用語不使用は1点減点。

④ 字数オーバーは1点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスターンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。

③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

④ 文章が未完のものも減点しない。

4 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

5 設問別加点基準

- 1) _____ 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1 点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば 1 点加点する。
- 5) [指定語句] は、解答文中のどこかで使用していれば減点しない。

[1]

問 1 各 2 点×4

A : ③ B : ② C : ① D : ④

問 2 24 点 [指定語句] 移民 経済成長 産業革命 人口爆発 (下線不要)

※指定語句不足は 1 語につき -1 点

発展途上のアジアでは、20 世紀後半、高い出生率のまま、医療水準の発達により死亡率が低下し、人口爆発がおこった。20 世紀末から多くのアジア諸国で経済成長が進み、現在では出生率や人口増加率が低下している。人口が少なかった北アメリカでは、アメリカ合衆国の発展で大量の移民が流入し、20 世紀を通して人口が増加した。移民の流入が続き、若年層の多い移民が出生数を維持するため、今世紀も人口が増加する。19 世紀末に産業革命を達成し、近代化が進んだヨーロッパでは、19 世紀に人口が増加したため、前二者に比べて 20 世紀の人口増加は緩やかだった。今後ますます少子高齢化が進むため、21 世紀には、一貫して人口が減少する。

【加点ポイント】(★問 1 の可否は問わない)

i) アジアについて (8 点)

- ① 20 世紀後半 (1950 年～2000 年) に人口爆発がおこった (人口が急増した) →2 点
- ② (①の背景) 医療の発達 →1 点
- ③ (①の背景) 出生率が高いままだった →1 点
- ④ 今後 (2015 年～2100 年) は、出生率や人口増加率が低下する
 /21 世紀半ば (2050 年頃まで) 人口は増加するが、その後は減少する } →2 点
- ⑤ (④の背景) 経済成長が進む / 農業社会から工業社会へと変容する
 / 女性の社会進出が進む / 核家族化が進む
 / 労働力としての子供が不要となる } →1 点
- ⑥ (⑤により) 出生率が低下する / 少子化が進む →1 点

ii) 北アメリカについて (8点)

- ① 20世紀を通して人口が増加した
/1900年から2000年まで大きく人口が増加した } →2点
- ② (①の背景) 移民が多く流入した/世界中から職を求めて人々が集まった →2点
- ③ 今後(21世紀/2000年以降/2015年から2100年まで)も人口増加が続く →2点
- ④ (③の背景) 移民の出生率が高い/ヒスパニックの出生率が高い
/移民には若年層が多い/移民にはカトリックが多い } →2点

iii) ヨーロッパについて (8点)

- ① 20世紀の人口増加は緩やかだった
/1900年から2000年は人口増加がみられた } →2点
- ② (①の背景) 産業革命を達成し19世紀までにすでに人口が増加していた
/産業革命を達成し20世紀前半までに経済成長を遂げていた
/経済成長が進み早くから少子化が進んだ } →2点
- ③ 今後(21世紀/2000年以降/2015年から2100年まで)は人口が減少する →2点
- ④ (③の背景) 少子高齢化が進む/さらに少子化が進む/さらに出生率が下がる →2点

問3 18点

オセアニア人口の大半を占めるオーストラリアは、国土の大半が乾燥して居住に適さず、沿岸部に入植した移民が都市を形成したため、都市人口率は以前から高い。移民の増加や経済成長で、限られた都市域の地価が高騰している。アフリカは、多様な気候の下に広大な農村部を持つが、農村の人口増加で余剰労働力が都市に流入し、都市人口率が急増している。雇用が不足しているため都市外縁部にスラムが広がり、居住環境が悪化している。

【加点ポイント】

i) アフリカについて (9点)

- ① アフリカの都市人口率は急増している →3点
 - ② (①の背景) 農村での人口増加/人口爆発 →2点
 - ③ (①の背景) 余剰労働力が都市に流入する/職を求めて都市に人が集まる →2点
 - ④ (課題として) ・雇用不足
 - ・住宅不足/居住環境の悪化
 - ・スラムの拡大
 - ・インフォーマルセクターの増加
 - ・ストリートチルドレンの増加
- } 1つ1点
2点まで

ii) オセアニアについて (9点)

- ① オセアニアは都市人口率が以前から高い
 /オセアニアの都市人口率は高いままあまり変わらない
 /オセアニアの都市人口率は高いが少しだけ減少した
 } →3点
- ② (オーストラリアは) 乾燥地域が多い/砂漠が広い →2点
- ③ (オーストラリアは) 入植者(移民)が沿岸部に都市を形成して集住した →2点
- ④ (課題として) 地価の高騰/家賃の高騰 →2点

[2]

問1 各2点×6

- A : メキシコ B : ブラジル
- C : アルゼンチン D : エクアドル
- E : ジャマイカ F : チリ

問 3 14 点 [指定語句] エスチュアリ 草原 肥沃 (下線不要)

※指定語句不足は 1 語につき -1 点

アルゼンチンの首都ブエノスアイレスは、ラプラタ川のエスチュアリの湾奥に位置するが、波が穏やかで水深の深い天然の良港であり、後背の平野も広いため、沿岸に港湾都市が成長しやすい。また、ラプラタ川の下流域はパンパと呼ばれる草原であり、枯草の腐植に富む肥沃な黒色土が分布する。よって、同都市は穀物や畜産物の集散地として発展した。

【加点ポイント】

(★問 1 の「C : アルゼンチン」を正解していることを加点の前提とする)

i) 都市名 (2 点)

①ブエノスアイレス →2 点

ii) 地形について (8 点)

① エスチュアリ (の湾奥) に位置する →1 点

② (①について) ラプラタ川 →1 点

③ (①の利点) 波が穏やか / 水深が深い →2 点

④ (①の利点) 後背の平野が広い / 後背地が広い / 付近に平野が広がる →2 点

⑤ (④により) 港湾が発達 / 貿易港が立地しやすい →2 点

iii) 植生と土壌について (4 点)

① 草原 (パンパ) が分布 →1 点

② (①により) 肥沃な黒色土 (パンパ土) が分布 →1 点

③ (②により) 穀物や畜産物の集散地として発展
 / 小麦・牛肉・羊肉・羊毛などの貿易港として発展 } →2 点

問 4 8 点

X のブラジルは、製糖用の他にバイオエタノールの原料としての需要も増加し、サトウキビ生産が拡大した。Y のキューバは、同じ社会主義国で砂糖の主要輸出先であったソ連が崩壊したため、サトウキビ生産が縮小した。

【加点ポイント】

i) X について (4 点)

① (国名) ブラジル →1 点

② (サトウキビ生産は) 増加した / 拡大した / 急増した →1 点

③ (②の背景) バイオエタノールの原料として →2 点

i) Y について (4 点)

① (国名) キューバ →1 点

② (サトウキビ生産は) 減少した / 縮小した →1 点

③ (②の背景) 輸出先のソ連の崩壊 →1 点

④ (③について) 同じ社会主義国であった →1 点